

報道関係各位

2024年8月21日  
株式会社 eve autonomy

## 屋外対応型の無人搬送システム eve auto を体験できる 『竜洋ショールーム』を竜洋本社倉庫内に開設

～自ら操作して機能性・安全性を確認できる体験型ショールームで eve auto をより深く理解～

株式会社 eve autonomy（イブ・オートノミー、静岡県磐田市、代表取締役：星野 亮介、以下「eve autonomy」）は、屋外対応型の無人搬送ソリューション「eve auto®」の実機操作や設備連携などをテスト体験できる環境『竜洋ショールーム』を、本社の倉庫施設内に構築し、eve auto の導入を検討されているお客様向けに公開いたします。竜洋ショールームで実際に eve auto の機能性や安全性、そして限界値などを体験頂くことで eve auto 導入にむけた理解を深め、製品やサービスに関する疑問の解消をして頂ける施設としてご活用いただけます。



eve auto を体験できる「竜洋ショールーム」の概観

2022年11月のサービス提供開始より、eve auto の導入を検討されるお客様には実機を確認頂く方法として以下の2つをご提供してきました。

### (1) ヤマハ発動機浜北工場

eve auto の開発のきっかけとなったヤマハ発動機の浜北工場では2台の eve auto が稼働しています。建屋間の無人搬送を行うだけでなく、シートシャッターやパトランプといった設備とのシステム連携や、同社が開発した荷役システムによる eve auto が牽引する台車から無人でラインに受け渡す仕組みなど、製造業の工場で実際に活用されているシーンを見学することができます。

### (2) 1Day 体験プログラム

導入を検討されるお客様が、自社の環境で無人搬送を実施する際のイメージや課題を抽出するために、eve auto をお客様の敷地内に持ち込み、自動運転用地図を作成して実際に無人搬送を1日体験するサービス（有償）を提供しています。

それぞれに eve auto を体験できる特徴があることから、これまでも広く活用を頂いておりましたが、工場見学では現場の業務状況に左右されたり、1Day 体験は準備期間や費用発生といった課題があるため、より気軽に eve auto の機能・性能を操作、体験できる環境といった要望をいただいています。

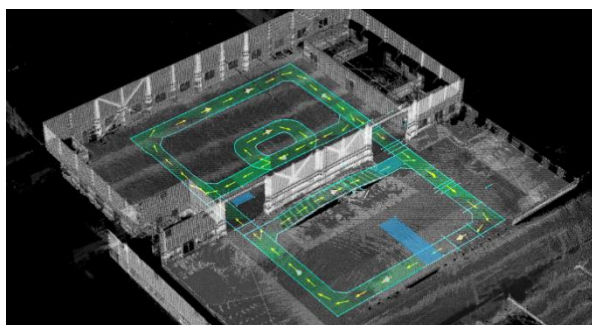
## 「竜洋ショールーム」の概要

前述のような背景のもと、竜洋ショールームは当社の所在地である静岡県磐田市の本社倉庫の屋外・屋内の両方を活用し、工場や物流施設などの搬送現場を想定した様々な活用シーンをイメージしたデモ・検証環境として構築しました。基本的な無人走行の確認に加え、実際の現場で必要となってくる設備との連携、複数台走行で発生する状況を再現し、スムーズな無人搬送業務が実現できるシステムであることを紹介します。

また、緊急停止操作、オペレーションツールの操作体験もでき、さらには障害物を飛び出させ、その限界はどのあたりなのかという確認を行うなど、様々なメニューで eve auto の理解を深めることができるようになっていきます。

表 竜洋ショールームでできる確認メニュー例

| 基本走行機能・性能の確認メニュー  | 操作性・緊急時性能の確認メニュー  |
|-------------------|-------------------|
| 設備連携（電動ゲート、パトランプ） | システム起動・停止操作       |
| 複数台調停機能           | 緊急停止ボタン押下による緊急停止  |
| 障害物検出機能           | パンパーセンサー接触による緊急停止 |
| 狭路走行              | 障害物による停止、制動距離の確認  |
| スロープ・段差乗り越え走行     | FMS コンソールの操作      |
| 最小旋回走行            | eve auto DASH の操作 |



竜洋ショールームの自動運転地区



電動ゲートとの連携



大画面での FMS コンソール操作

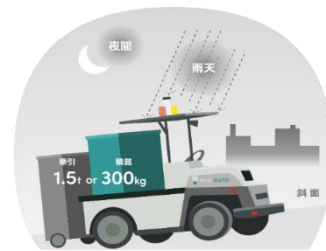


障害物による停止

竜洋ショールームは、導入検討の初期フェーズから具体検討フェーズでの実機検証、または導入決定前後でお客様の実際のワーク、さらに台車を持ち込んでデモルートを使っての搬送検証など、あらゆるフェーズで活用頂けるようになっていきます。『屋外の無人搬送』という新しい領域での実用性を導入前にしっかりと確認し安心して導入いただくことで、お客様満足度の向上にも繋げてまいります。

## 屋外対応無人搬送サービス「eve auto」

eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせず自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。eve auto は、高い信頼性により全国で活用されている EV カートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、**雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル 4 での 1.5t までの無人搬送運用を実現**しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。製造業をはじめ、物流業、石油化学プラントなど様々な業界で既に導入され、40 拠点以上で約 50 台の導入実績があります。



### 【主要スペック】

|             |   |
|-------------|---|
| サービス名／車両    | eve auto(イブ・オート)／FG-01  |
| 寸法／重量       | 全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg  |
| 最大牽引重量／積載重量 | 1,500 kg／300kg  |
| 駆動方式／バッテリー  | DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スペア交換可能）   |
| 最大走行速度      | 手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h   |
| 最大登坂性能      | 9.6 度（17%）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12%）積載 300kg・自動運転時                                 |
| 安全機能        | レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ   |
| 自動運転機能      | 自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）  |
| 主な管理機能      | FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム<br>走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御 |
| 設備連携機能      | eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携等を実現する Bluetooth 通信機器              |

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://eveautonomy.com/service>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://eveautonomy.com/casestudy>

### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy 事業開発部  
 TEL：0538-40-9170  
 Mail：[mk@eveautonomy.com](mailto:mk@eveautonomy.com)  
 Web：<https://eveautonomy.com/contact>

株式会社 eve autonomy  
 本社：静岡県磐田市大中瀬 868 番地 1  
 代表取締役社長：星野 亮介  
 HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は、「今日から自動化」をスローガンに、工場や物流施設の主に敷地内での屋外搬送業務を、自動運転技術の活用により無人搬送を実現するサービス「eve auto®」を提供するソリューションプロバイダーです。ヤマハ発動機株式会社と株式会社ティアフォーの技術力を結集し、世界最先端の自動運転技術と長年グローバルで培ってきた品質と信頼を基に、社会課題解決に取り組み、世の中の変化に求められるワークスタイルの実現に貢献してまいります。